



京都嵯峨芸術大学

# NEWS

大学報告

## 教職員人事

### 退職

左記の方が退職されました。  
 桜井昭和  
 (総務部総務経理課係長、  
 2013年6月30日付)  
 浦前ゆめ路  
 (入試部入試課員、  
 2013年8月31日付)

### 任用

左記の通り任用いたしました。  
 副学長(入試部長兼務)  
 増田洋 教授  
 (2013年4月10日付)  
 文化事業推進部長  
 芳野明 教授  
 (2013年4月10日付)

客員教授  
 安齋レオ子  
 河井リツ子  
 新村則人  
 令状ヒロコ  
 (何れも2013年5月1日付)

学園事務局長兼学長事務室長  
 午居隆平  
 (2013年5月1日付)  
 大学事務局長  
 小澤昇士  
 (2013年5月1日付)

広報室専任職員  
 松本昇  
 (2013年9月1日付)  
 入試部入試課専任職員  
 高木あすか  
 (2013年9月1日付)

文化事業推進部  
 文化事業推進課専任職員  
 北川恵美  
 (2013年9月1日付)  
 入試部入試課嘱託職員  
 杉岡由紀  
 (2013年9月1日付)

## 教育後援会 総会報告

平成25年度総会が7月7日(日)に本部キャンパスAVホールにて開催されました。24年度事業報告・決算と25年度事業計画・予算が承認され、新役員が選出されました。引き続き、坂田学生部長から

学生の進路支援について報告が行われ、閉会後、学科分野別に担当教員との懇談会、希望者には成績関係や学生生活、進路関係についての個別相談が実施されました。また、午後から大覚寺

見学会を実施し、約40名の保護者の方々にご参加いただき、大覚寺の境内散策などを堪能いただきました。  
 なお、今回の総会において、木村俊昭氏、多田真理子氏(前監事)が副

会長に、物部雄次氏が監事に選出されました。(総務経理課)

## 2013年度 オープン キャンパス 報告



2013年度のオープンキャンパスを4月28日(日)、6月16日(日)、7月27日(土)、7月28日(日)に開催いたしました。

今年度のオープンキャンパスは、コミックアートの分野新設に係るPR企画

をはじめ、多くのイベントを実施しました。現在、10月6日(日)に予定しているオープンキャンパス以外での総来場者数は1309名(受験生873名、保護者436名)にのぼり、いずれの回も前年度

の来場者数を上回る結果となりました。次年度以降のオープンキャンパスでは、引き続き広報活動やオープンキャンパスの内容を充実させ、来場者の増加を目指していきたいと考えています。(入試課)

## 入試相談会 進路就職 支援サポート について

7月27日(土)と7月28日(日)の両日、オープンキャンパスにて、本学学生の進路ならびに就職支援について高校生や父母の方々に説明し、本学独自のキャリア支援を理解していただきました。

就職環境が改善に向かう中、入学年次に全学生が履修する教養ゼミでのキャリアアカルテに始まり、大学、短期大学別の進路ガイダンスやキャリアアップランニングの授業、インターンシップ研修、

業界研究・学内会社説明会、各種の就職支援講座など、本学が行っているキャリア支援の概要を説明いたしました。

また、進路・就職支援相談コーナーでは、入学後の就職活動や大学での学修と将来の進路などの質問にも応対いたしました。

今年度夏期のインターンシップ研修には、計8企業・団体様のご協力により、10名の実習生を受け入れていただいております。

また、さらに、学内では各種の資格取得講座を開講し、夏期休暇中も支援を継続しています。(キャリア支援課)

## 観光特別 フォーラム 開催



6月22日(土)、本学と日本観光研究学会との共催による観光特別フォーラム「地域における観光産業のあり方と人材育成」が開催されました。

特別講演に観光庁次長・志村格氏による「観

光立国への取り組み」基調講演にはJTB代表取締役社長 田川博己氏による「旅をデザインする」が行われた後、門川大作京都市長、桑田政美本学教授が加わり、パネルディスカッションが

行われました。観光産業の現状と課題、地域や業界が取り組むべき方向性、それを担う人材の育成などについて産・官・学の代表者による幅広い意見交換が行われ、観光関係者、一般、大学生

など多くの方にご参加いただきました。(広報室)

各種連携

# 「新・寺子屋計画」 関連イベント 「金剛寺ジャック」



平成25年8月17日(土) 8月18日(日)の2日間、滋賀県東近江市の大日山金剛寺において「新・寺子屋計画」関連イベント「金剛寺ジャック」を開催しました。「新・寺子屋計画」とは、お寺をもう一度集いの場

として再生させ、これからのお寺のあり方を考え、提案していこうという学生主導の企画です。今回のイベント「金剛寺ジャック」は、お寺に愛着を持って貰うため、日本画分野古画研究工房学生

が指導のもと、金剛寺の天井画の一部を門徒や地域住民に描いてもらう「天井画を描こう」、学生サークル「竹造」の協力を得て行なった「灯籠に描こう」「垣見の夕べ」、大学院1回生に

よる「エコバッグ作り」など、子供から大人までが参加できるように、多様な内容で行いました。100名以上の参加者があり、学生と参加者が一緒に盛り上がった有意義なイベントでした。

来年は地域住民の方々にもワークショップを考案していただき、学生と地域住民が協力したイベントに展開していきたいと考えています。  
(芸術学部造形学科 日本画分野 仲准教授)

# 「妖怪のお面を作って嵐電に乗ろう！」



毎年開催している「小学生夏休み講座」以外に、新たに「妖怪のお面を作って嵐電に乗ろう！」小学生対象、保護者参加も可という講座を嵐電と連携し開催しました。

「妖怪のお面」の運行に合わせ、本学卒業生で妖怪作家・妖怪文化研究者 河野隼也氏指導のもと、お面を素材に子供達がユニークな妖怪を作りあげました。

講座終了後、妖怪に変身した子供達は車折神社の境内で嵐電に乗車し、嵐山駅での「妖怪総選挙」にエントリーをしたあと、妖怪電車に乗車しました。車内では学生サークル「百妖箱」が扮装した妖怪が登場、車内は歓声と悲鳴に包まれていました。

が、負けじとチビッコ妖怪達も妖怪電車を楽しんでいました。  
(文化事業推進課)

# 愛宕古道 街道灯し



8月23日(金)〜8月25日(日)にかけて18回目となる「愛宕古道街道灯し」が開催され、学生サークル「竹造ARTAKEZOU」が中心となり制作した巨大行灯を含む800基が清涼寺(嵯峨釈迦堂)から愛宕神社

一の鳥居までの街道沿いに並びました。愛宕古道街灯しは、あだしの念仏寺での千灯供養、また地藏盆にあたる日の夕べに合わせ、瀬戸内寂聴氏と嵯峨野保勝会が、京都嵯峨芸術大学と共に作りあげ

てきたものです。展示された行灯は、地元の方々や中高生と共に制作したのも、右京区にある児童館との連携により子供達と制作したもの、本学生涯学習講座の受講生が制作したもの

が並びました。23日の18時30分からは一の鳥居前で森本学長も参加して点灯式が開催されました。また、いくつかの学生グループが企画した手作り市「ぐるぐるナイトマーケット」(学生団体「KURUKULU」主催)も開催され、祭り全体が活

気ついたものになりました。  
(文化事業推進課)

# JR嵯峨嵐山駅構内に 学生作品が 展示



JR嵯峨嵐山駅構内に芸術学部観光デザイン学科4回生の平良岳之君の《嵐山・恋の絵馬》が展示されました。この絵馬は商品化され、野宮神社で販売されています。また夏期には大覚寺

心経宝塔(基壇内部)の公開に合わせて、渡辺始興による大覚寺正寝殿障子腰板絵を本学古画研究室工房学生が模写した作品や、本学で嵯峨御流の華道を学ぶ学生有志の生花が構内を彩

りました。JR嵯峨嵐山駅とのこの連携事業は今後も継続される予定です。  
(文化事業推進課)

# 平成25年度 「右京区まちづくり支援 制度」支援事業 「KURUKULU」が 大学活動支援枠で採択さ れました(199,500円)

右京区が募集した「右京区まちづくり支援道街道灯し」でのナイトマーケット企画・運営や水尾地域でのまち歩きなどにより、芸術・デザイン

的視点から地域資源の発掘・発信・交流の場づくりを行うことを中心に活動

する任意の団体です。また「あらし山びこ」が学生地域ボランティア支援枠で採択されました(30,000円)。「あらし山びこ」は嵯峨・嵐山を中心とした地域の伝承文化をテーマの一つとして、

絵本の読み語り活動を展開。就学前・小学生低学年のほか、高齢者福祉施設などで積極的に開催することにより、双方のつながりづくり

を目指す学生団体です。  
(文化事業推進課)

## 大学関連行事予定

Sep.2013 — Feb.2014



- 9月20日(金).....■月例法要
- 9月23日(月・祝).....■後期授業開始
- 9月25日(水).....■9月卒業式
- 9月28日(土).....■京の美意識  
「京都はマネキンのルーツ」
- 10月6日(日).....■オープンキャンパス
- 10月19日(土).....■大学院入試(前期)
- 10月20日(日).....■3年次編入学入試(前期)  
■特別入試(前期)  
※海外帰国生・社会人  
(芸術学部・短期大学部)  
■専攻科入試(前期)
- 10月26日(土).....■京の美意識  
「日本画の色・いろいろ」
- 11月2日(土)・3日(日・祝).....■嵐芸祭
- 11月15日(金).....■月例法要
- 11月16日(土).....■京の美意識「日本画筆」
- 11月17日(日).....■公募制推薦入試(短期大学部)
- 11月17日(日)・18日(月).....■公募制推薦入試(芸術学部)
- 12月15日(日).....■自己推薦入試(前期)
- 12月21日(土).....■京の美意識「美の計測」
- 12月24日(火)~1月5日(日).....■冬季休業
- 1月6日(月).....■授業再開
- 1月18日(土).....■特別入試(後期)  
※海外帰国生・社会人  
(芸術学部・短期大学部)
- 1月25日(土).....■京の美意識「縄文人の美意識  
~京都市内出土遺物の観察から~」
- 1月27日(月).....■学園創立記念日
- 2月1日(土).....■後期授業終了
- 2月3日(月)・4日(火).....■第42回制作展  
作品搬入(京都市美術館)
- 2月5日(水)~9日(日).....■第42回制作展(京都市美術館)
- 2月7日(金)~10日(月).....■第42回制作展(学内進級展)
- 2月5日(水).....■一般入試(前期・芸術学部)
- 2月6日(木).....■一般入試(前期・短期大学部)
- 2月12日(水)~15日(土).....■後期集中授業
- 2月21日(金).....■月例法要
- 2月27日(木).....■一般入試(後期・短期大学部)  
■3年次編入学入試(後期)  
■大学院入試(後期)  
■専攻科入試(後期)

## ギャラリー博物館 報告



附属博物館では平成25年6月4日(火)~6月22日(土)は資生堂広報誌「花椿」やカネボウ化粧品広報誌「Beier」など、約650冊を展示した「美のコミュニケーション展」を開催。7月9日(火)~7月28日(日)は乃村工藝社の貴重な博覧会コレクションをお借りして「博覧会ポスターにみる日本の復興」と題した展覧会を開催。貴重な資料に、来館者は熱心に見入っていました。附属ギャラリーアートスペース嵯峨では「COMIC ART SENSATION Vol.2」6月11日(火)~6月16日(日)、「COMIC ART SENSATION Vol.3」7月23日(火)~7月28日(日)、イラストレーター&デザイナー「北田哲也」19回目の「展覧会」を開催しました。「COMIC ART SENSATION」の開催時の6月16日(日)~7月28日(日)には卒業生で漫画家の河井リツ子客員教授(とらとハム太郎)作者)による「四コママンガ講座」や少女主義的水彩画家たま氏によるサイン会を開催。多くの方が来場されました。(文化事業推進課)

## 「絶滅危惧種カレンダー」制作



本学大学院生7名(末田真美、湊智瑛、樫田歩、田中杏奈、森本美輪、金子元)が和研業株式会社、株式会社幸伸と連携し、絶滅危惧種をモチーフとした平成25年度のカレンダー用原画を制作しました。日ごとに違う絶滅危惧種を表現するために異なる365枚がそれぞれ所属する分野の技法で描かれ、一月ごとに28種から31種を配置し仕上げられました。平成26年度用カレンダーも大学院生を中心に引き続き制作中です。(文化事業推進課)



# TOPICS

各種連携

## はあとフレンズ 新商品 研究開発 プロジェクト



障がいのある人のアート作品とデザインの力で商品力を高めて、障がいのある人の自立を助ける取り組みに参加しました。お菓子のパッケージ部門でメディアデザイン学科3回生の中村優歩さん、澤田美可子さんの「やつはしスティック」カレンダー部門で生活デザイン2回生の湯浅まりさんの「クラフトカレンダー」のデザインが受賞、商品化されました。

2012年9月学内で、プロジェクトの説明が行われ、学科学年の枠を超えて有志7名が集まりました。放課後隔週のペースで集まり、京都市内の障害福祉事業所から集まった100枚以上の素晴らしい原画作品を見て自分たちのアイデアを膨らませ、デザイン案の模型を作った。応募しました。受賞した3名には「製品化」という高いハードルが課せられました。彼らは授業と並行して連日連夜グラフィック作業を行い、担当者や印刷会社、カメラマンとのメールによるデータのやりとりを行いました。さらに、商品化

直前に、デザインをプロのグラフィックデザイナーに手を加えていただきました。商品化後にそのデザイナーに本学に来ていただいた。公開のデザイン指導(講演会)も開催しました。

2013年3月1日(金)に行われた表彰式では、原画を描いた障がいのあるみなさんはアーティストとして、学生はデザイナーとして、学生はデザイナーとして同じ拍手とリスペクトをたくさんのお客者から受けました。障がいの有無で区別をされない社会：ノーマライゼーション

※学年は受賞時のものです。(芸術学部デザイン学科生活デザイン系 楠林准教授)

教員・在学生の活躍

## 「2013京展」に 在学生、卒業生が多数 入選

新人作家の登竜門として親しまれている、京都市主催の総合公募展「2013京展」に、在学生、本学卒業生が多数入選しました。京都市美術館開館80周年記念展として開催さ

れた同展は、応募作品812点の中から入選作品451点が出され、更にもう33点の受賞作品が選出されました。入選・入賞作品は、2013年7月3日(水)～7月19日(金)まで京都

市美術館において展示されました。(広報室)

### 入選

- 【日本画部門】  
湊 智瑛 (卒業生)  
高田 操子
- 【洋画部門】  
松原 昭俊 (卒業生)  
山原 晶子 (卒業生)  
石井 顕幸 (卒業生)
- 【彫刻部門】  
山田 実 (卒業生)  
白上 太郎 (卒業生)
- 【工芸部門】  
友寄 万梨奈
- 【版画部門】  
櫻田 歩 (卒業生)

の度の受賞は、そこで実践されたプロジェクトのプログラムとマネージメントが高く評価されたものがあります。(広報室)

## 大森正夫教授、平成24年度『意匠学会賞(作品賞)』を受賞!

本学芸術学部の大森正夫教授が、意匠学会より平成24年度の『意匠学会賞(作品賞)』を受賞された。『第55回意匠学会全国大会』(7月20日)において表彰されました。昭和34年(1959年)に設立され

た意匠学会(The Japan Society of Design)は、デザイン活動とデザイン研究の活性化を推進するために意匠学会各賞を制定し、優れた業績をあげた個人あるいは団体に賞を授与しています。

この「作品賞」は、各年度の意匠学会大会における発表作品を対象として選考し、その中でもっとも意匠学会として顕彰するにふさわしいと判断される優れた作品に対し、その実質的中心となった個人また

は団体へ「研究奨励金」を添えて授与されるものです。大森正夫教授が受賞した作品は平成24年に発表された「都市型アートフェスティバルの実践プログラム」の作品(研究)発表です。

この研究での中心テーマが特徴の芸術祭であり、こ

である神戸ビエンナーレは、神戸の潜在的な文化力を発揮させながら、従来のアート概念に捕われない新領域の作品をコンペティション形式で募集するなどの、多彩な事業プログラム

## 嵐芸祭、今年テーマは「博嵐会」 EXPOSITION of HeARTS



11月2日(土)～3日(日)開催の嵐芸祭は、普段はみえない芸大生の新しい一面を知ることができ、貴重な2日間です。

今年度の嵐芸祭のテーマは「博嵐会」EXPOSITION of HeARTSです。

今年も学生や当日ご来場の方々思いきり楽しんでいただけるような、様々な催しを準備しております。毎年恒例のフリーマーケットや模擬店、有響館でのお化け屋敷はもちろん、昨年

フェス形式で行われている「SAGA sonic 2013」さらに、学生の作品を廊下に展示する「Gallery R」を開催いたします。学生の作品を間近で見たい、ということ、より一層芸大生

を身近に感じていただくことでしょうか。みなさん是非ご来場ください。(嵐芸祭実行委員会 実行委員長 小澤綾菜)

# Information

## 本学関係者による展覧会情報

- 大学院生、芸術学部造形学科日本画分野・古画研究工房学生 他/日本画  
『大日山金剛寺「金剛寺ジャック!・天井画を描こう」展』  
会期:10月1日(火)~10月6日(日)  
会場:本学玄関ホールギャラリー
- 芸術学部造形学科日本画分野3・4回生/日本画  
『日本画分野制作展「Shu·ha·ri」』  
会期:10月1日(火)~10月6日(日)  
会場:本学玄関ホールギャラリー
- 箱崎 睦昌/日本画  
『日本画の現在 20年後の横の会展』  
会期:8月3日(土)~10月14日(月・祝)  
会場:新潟市新津美術館
- 大沼 憲昭/日本画  
『京团扇・日本の風展』  
会期:9月7日(土)~9月23日(月・祝)  
会場:京都・東山圓徳院
- 笈 有子/洋画  
『Vesica Piscis - 絵画の3つの視点から -』  
会期:9月20日(金)~9月29日(日)  
会場:加古川展 松風ギャラリー  
会期:10月17日(木)~10月27日(日)  
会場:神戸展 ギャラリー デ・ラ・パーチ

## 附属博物館 スケジュール

- 『京都嵯峨芸術大学の先人達 第6回 西真展』  
期 間:10月22日(火)~11月9日(土)  
開館時間:10:00~17:00  
休 館 日:日曜日休館 ただし、11月3日は開館
- 『郷土玩具「土人形」~伏見人形を中心に~』  
期 間:11月26日(火)~12月21日(土)  
1月14日(火)~1月25日(土)  
開館時間:10:00~17:00  
休 館 日:日曜日休館

※スケジュールは変更になる場合があります。

## 附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

- 『2013年度前期生涯学習講座受講生作品展』  
期 間:9月17日(火)~9月22日(日)  
開館時間:10:00~17:00(最終日16:00まで)
- 『COMIC ART SENSATION Vol.4』  
期 間:10月1日(火)~10月6日(日)  
開館時間:10:00~17:00
- 『デザイン学科イラストレーションC展覧会「切実な絵(セツジツナエ)」』  
期 間:11月6日(水)~11月10日(日)  
開館時間:12:00~18:00
- 『武田秀雄 漫画展』  
期 間:11月24日(日)~12月1日(日)  
開館時間:10:00~17:00

※スケジュールは変更になる場合があります。

## 京の美意識 スケジュール

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時間を刻んできた京都の独特の知識や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きして、ご講演いただいています(参加料無料)。また、ご希望の方には過去の講演録を販売しています(一冊千円)。

■第82回 9月28日(土) みやけ こっほ 三宅 五穂 (彫刻家 吉忠マネキン株式会社元代表取締役)	京都はマネキンのルーツ
■第83回 10月26日(土) ふじもと つきお 藤本 榮男 (彩雲堂四代目店主)	日本画の色・いろいろ
■第84回 11月16日(土) やかた かずお 家形 一雄 (京筆師)	日本画筆
■第85回 12月21日(土) むらかみ りゅう 村上 隆 (京都国立博物館 学芸部部長)	美の計測
■第86回 1月25日(土) こんどう なお 近藤 奈央 (財団法人京都市埋蔵文化財研究所)	縄文人の美意識 -京都市内出土遺物の観察から-

※いずれの回も14:20~有響館G401教室にて(参加無料)。  
お申込み・お問い合わせは文化事業推進課まで。TEL.075-864-7898

## あらし山びこスケジュール

本学附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしなが、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日 時:第3土曜日(8月・9月・11月・1月は除く)13:00~  
入場料:無料 参加自由  
場 所:京都嵯峨芸術大学  
    萩原キャンパス「有響館」1階 附属図書館内

### [絵本読み語り]

回	日程	プログラム	テーマ
3	12月21日(土)	30分	ぬくぬく
4	3月15日(土)	30分	めばえ

### [えほんとおそぼ]

回	日程	時間
3	10月19日(土)	13:00~13:30
4	2月15日(土)	13:00~13:30

※大学授業や行事などにより開催日やテーマを変更する場合があります。

[編集後記]京都の夏が暑いのは当たり前とはいえ、本当に暑い夏でした。この暑さの中、学生のみなさんは、地域との連携事業や行事に積極的に参加して、イベントを盛り上げてくれました。その一端は誌面でもご紹介しましたが、本当にご苦労様でした。

長い夏休みが終わり、いよいよ後期開始です。大学のキャンパスも活気付いてきました。後期の一大イベント、「嵐芸祭」の準備も着々と進んでいるようです。今年も嵐芸祭に合わせてホームカミングデイを開催いたしますので、同窓生のみなさん、ぜひ母校に足をお運びください。「おかえりなさい!」



学校法人 大覚寺学園

京都嵯峨芸術大学 大学院・芸術学部・短期大学部

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 http://www.kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨芸術大学広報 第46号 2013年9月27日発行 編集:京都嵯峨芸術大学 広報室 発行:学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学 info@kyoto-saga.ac.jp

